

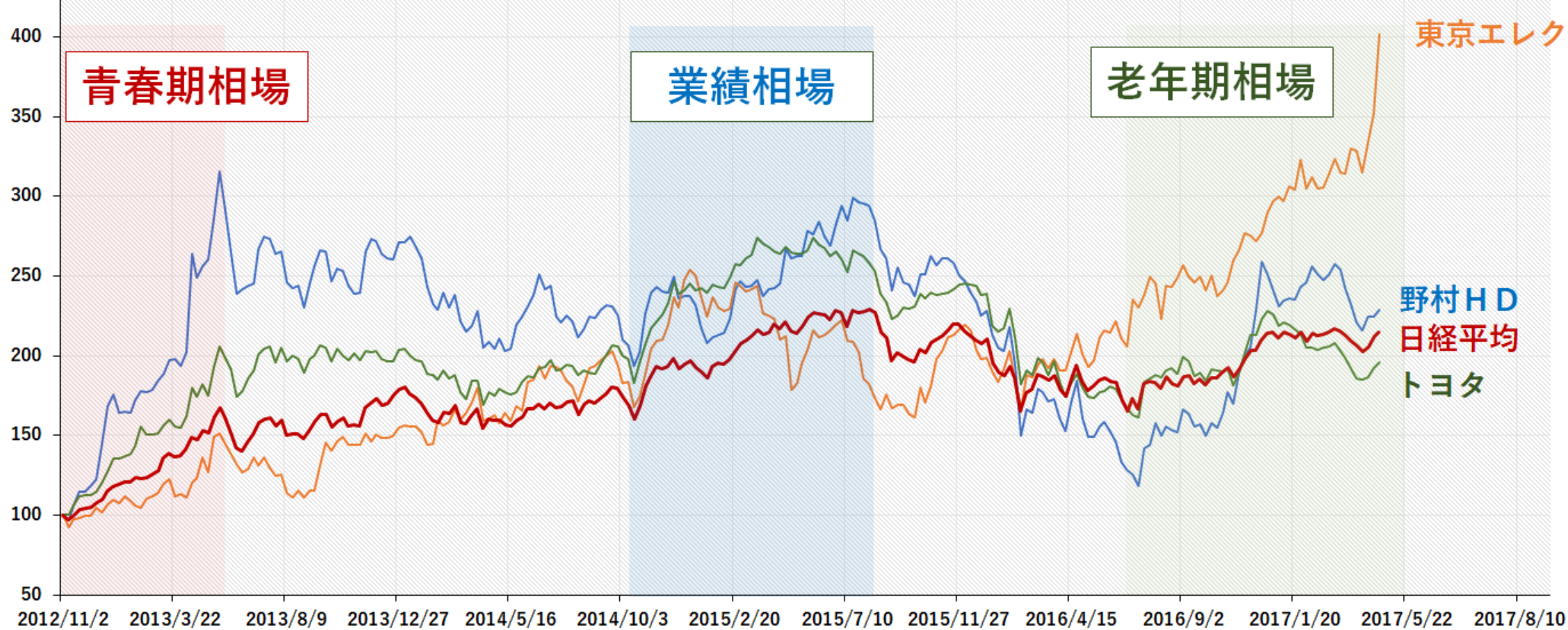
#45 『「相場循環」からの今の相場局面を考える！』

【収録時間：39分】

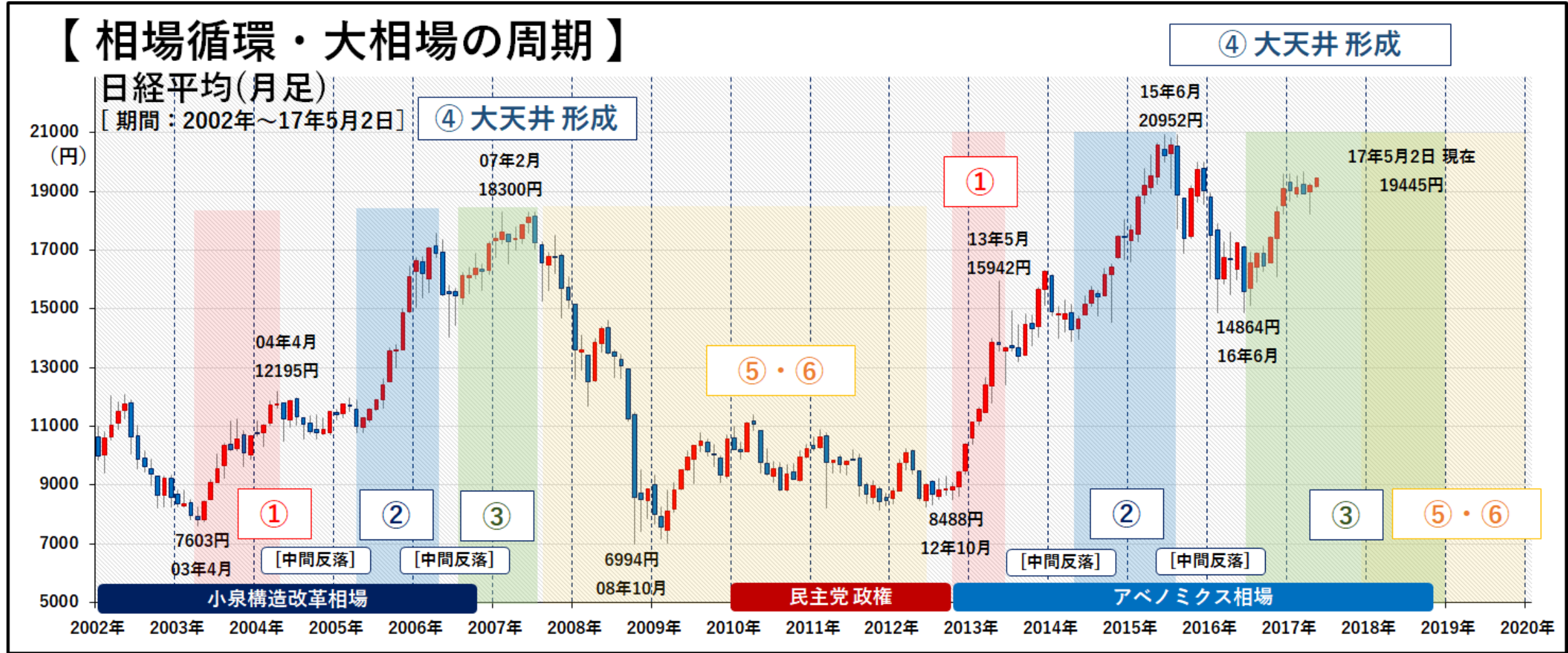
【収録日】2017年5月3日 [資料作成 5月3-4日]

【アベノミクス相場における 主要銘柄の比較チャート】

* 2012年11月2日終値 = 100として指数化



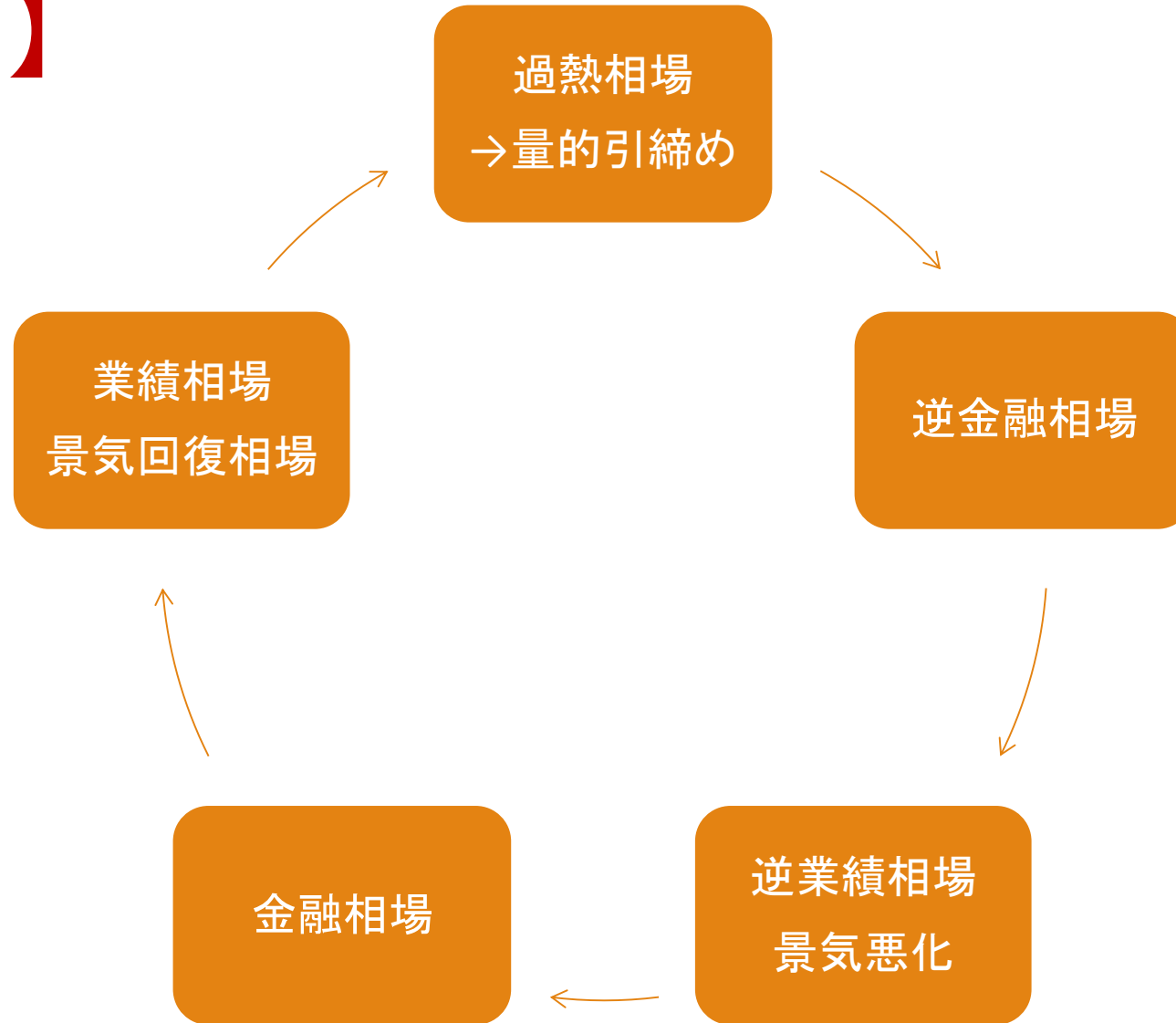
【補足-大相場の周期】 -1



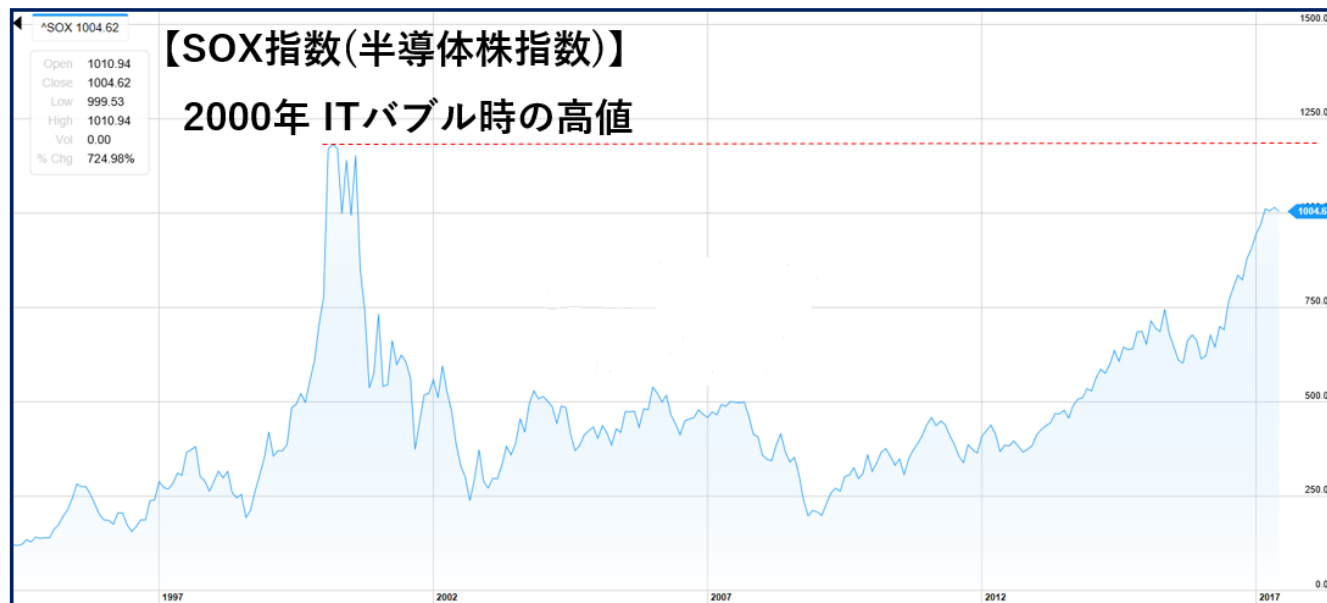
【補足-大相場の周期】 -2

| | | |
|----|--|---|
| ① | 青春期相場 (観念相場) (期待先行) | 政治・経済・社会すべてが暗く、実勢は悪いことばかりなのに、何かの契機で人々が未来の繁栄場面を想起してそれを目がけて猛烈に買い始める。金融資産を一挙に増やすとき。ほぼすべての銘柄が上昇する。 |
| ② | 壮年期相場 (業績相場) | 業績相場。立ち止まってはときどき振り返り、現実がついてくるか否かを確認しながら動く。業績による銘柄の選別化がみられる。 |
| ③ | 老年期相場 | 現実の企業業績はよくなっているため、評論家はみんなが強気をいう（いいやすい）。野も山も明るく見える。ただ銘柄の選別化（振るい落とし）はさらに進み、日経平均は上昇しているのに、自分の保有銘柄は全く上がらないなどといったケースが多く出てくる。 |
| ④ | 大天井 形成 | |
| ⑤⑥ | | ⑤大相場完了で次回大相場の大底を待つ期間・⑥その間の中間反騰の反復 |

【相場循環】



【SOX指数】

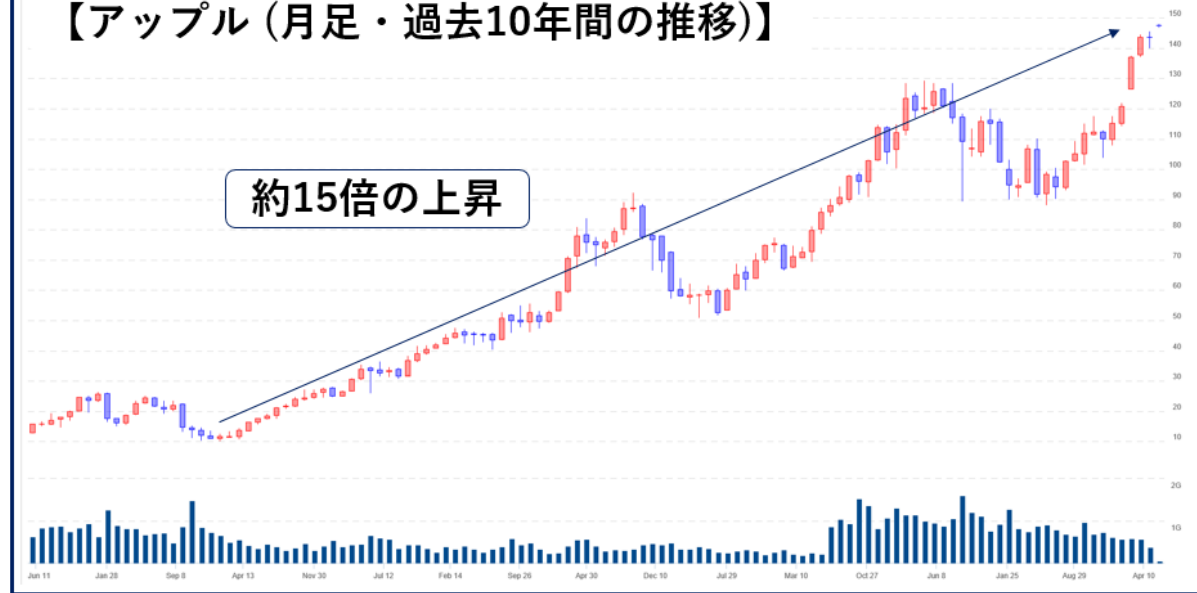


【補足-東エレクト】



【アップル】

【アップル (月足・過去10年間の推移)】



【アマゾン】

【アマゾン (月足・過去10年間の推移)】

